平成２７年度

事　業　報　告　書

（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

平成27年度事業報告

急速な高齢化の進展、疾病構造の変化等、県民の健康を取り巻く環境は大きく変化し、健康づくりに対するニーズもより一層高度化、多様化する中、兵庫県では、「健康づくり推進条例」や「受動喫煙の防止等に関する条例」を制定するほか、企業従業員やその家族を対象とした健康づくりを推進するため「健康づくりチャレンジ企業」制度を創設し、登録企業を支援する「健康づくりサポート企業」との協定締結を行うなど、県民の健康づくりを社会全体で推進する取り組みを強化している。

当財団においては、公益財団法人としての役割をより積極的に果たしていくため、保健医療を取り巻く動向や県民の健康ニーズを的確に捉えつつ、「県民の総合的な健康づくりのパートナー」を目指して、兵庫県や関係団体との連携の下、次の三つを大きな柱として事業を推進した。

また、経営基盤を確たるものにするため、「兵庫県健康財団経営計画」に基づき、経営改善を推進した。

1　健康づくり実践活動の支援

個人の努力とあわせて社会全体で健康づくりを支援する「健康ひょうご21県民運動」については、健康づくりの基本となる「健康チェック」を基盤とし、「からだの健康」「食の健康」を重点活動目標とし、「たばこ対策」「アルコール対策」「歯及び口腔の健康」「こころの健康」「健康危機における健康確保対策」を活動目標に掲げ、参画団体、推進員等との協働により、健康診断の受診勧奨、専門家による健診結果に基づくアドバイス、生活習慣の見直しを通じた健康づくり運動を全県内で展開した。

また、スマートフォン等で利用できる健康増進プログラムを土台とした健康チェックツールを通じてセルフチェックの促進を支援したほか、企業と協働して従業員や家族の健康づくりに取り組み、働き盛り世代を含む県民総ぐるみの健康づくりを推進した。

2　疾病予防等の普及啓発

県民の健康づくりに関する有用な情報や、財団の事業内容を幅広く紹介するため、広報紙「プレベ」やホームページによる広報を行ったほか、生活習慣病、結核、がん等の予防をはじめ、母子保健、臓器移植や献血に関する正しい知識の普及と意識の向上を目的として、講演会やセミナーの開催、ポスター掲示や街頭活動によるキャンペーン事業等の啓発活動を行うとともに、健康づくりや疾病予防の各分野にお

ける功労者の表彰を行った。

また、健診、健康づくりに携わる専門技術者に対する技術講習会の開催や、がん等の医療に携わる専門職が行う研究の奨励を行い、医療技術の向上の支援に努めた。

3　健診・生活習慣等改善指導の実施及び調査研究の推進

受診者の視点に立った「安全・安心でかつサービスの行き届いた健康診断」を提供するため、健診精度の維持・向上に努めつつ、県内全域の地域・職域・学校において幅広い年齢層を対象に健診事業を実施するとともに、特定保健指導について、積極的に利用者確保に努めた。

平成27年12月に企業に義務付けされたストレスチェックについても国が示す指針等に基づき、体制を整備し、的確に実施した。

さらに、五色県民健康村健康道場においては、リピーター割引クーポン券の発行や年末年始営業等のほか、ホームページ等を活用して広く県民に広報を行い、県民のこころと身体の健康づくりを支援する実践施設として一層の利用促進を図った。

また、公益財団法人として県内の公衆衛生の向上に寄与するため、健診や生活習慣改善指導事業等の実施状況及び精密検査受診者の追跡調査により得られたデータを集計し、「事業年報」として情報発信するとともに、県内のがん罹患情報を収集・登録し、平成24年のがん罹患状況の集計を行った。

加えて、健診事業等の実施にあたっては、実施体制の見直しによるコスト削減や医療資源の効率的活用を推進し、競争力の強化を図るとともに、渉外計画に基づき顧客の確保に努め、経営改善に取り組んだ。

平成27年度事業体系

（人件費・減価償却費を除く）

県民の総合的な健康づくりのパートナーを目指して

- **健康づくり実践活動の支援** 18,023千円
  - 健康ひょうご21県民運動の推進 12,559千円
    - 総合的な推進 5,080千円
    - 食の健康運動の推進 2,450千円
    - からだの健康づくりの推進 651千円
    - 歯・口腔の健康づくりの推進 328千円
    - こころの健康づくりの推進 －千円
    - たばこ対策の推進 261千円
    - 講師派遣による実践支援 1,975千円
    - 実践活動等への助成 1,814千円
  - 企業との協働による健康づくりの推進 5,464千円
    - 健康づくりチャレンジ企業への情報発信 1,635千円
    - 健康チェックツールの活用推進 37千円
    - 健康マイプランの推進 3,792千円
- **疾病予防等の普及啓発** 10,592千円
  - 普及啓発活動の推進 7,365千円
    - 広報の実施 1,959千円
    - 結核予防の啓発 2,134千円
    - がん予防の啓発 1,678千円
    - 健康づくりの啓発 31千円
    - 親と子の健康づくりの啓発 486千円
    - 臓器移植の推進 982千円
    - 献血の促進 95千円
  - 専門技術者の育成 162千円
    - 健康づくり指導者の育成 162千円
  - 専門的研究の奨励 3,065千円
    - がん・腎疾患の専門的研究の奨励 3,065千円
- **健診・生活習慣等改善指導の実施及び調査研究の推進** 986,455千円
  - 健診・検査の実施 946,752千円
    - 施設健診
    - 出張健診
    - 一般診療

    （890,608千円）
    - 先天性代謝異常検査 52,097千円
    - 精度向上・危機管理への取り組み 4,047千円
    - 計画的な車両・設備の整備 －千円
  - 保健指導の実施 1,564千円
    - 特定保健指導
    - 一般保健指導

    （1,564千円）
  - 健康増進施設の運営 35,791千円
    - 五色県民健康村健康道場の運営 35,791千円
  - 調査研究事業の推進 2,348千円
    - 疾病り患状況等の分析 336千円
    - がん登録事業 2,012千円

事業費計	1,015,070千円

Ⅰ　健康づくり実践活動の支援

1　健康ひょうご21県民運動の推進

(1)　総合的な推進

①　健康ひょうご21県民運動推進会議総会等の開催（県補助事業）

全県の参画団体が一堂に会し、重点活動目標や事業計画を決定するとともに、健康づくりの普及・実践を促進するため、健康ひょうご21県民運動推進会議総会を開催した。

また、各部会長及び各地域会議会長を構成メンバーとする合同会議を開催した。

総　　会　：　平成27年6月2日（火）

合同会議　：　平成28年3月3日（木）

②　健康ひょうご21県民運動推進フォーラムの開催

全県の参画団体を含め広く県民に参加を呼びかけ、改定された県民行動指標を確認し、健康づくりの普及・実践を促進するため、健康ひょうご21県民運動推進フォーラムを開催した。

開催日・場所	内　　容	参加人数
6月2日（火） 兵庫県看護協会 ハーモニーホール	・健康づくり等に関する知事及び健康財団会長表彰 ・がん、腎疾患研究奨励賞贈呈 ・健康ひょうご21県民運動について ・参画団体「ひょうご県友会」による実践発表（健康体操） ・講演「災害時の我が家の食料備蓄－災害危機は健康危機」 講師　甲南女子大学名誉教授　奥田　和子　氏	383人

③　健康ひょうご21県民運動地域会議の開催（県補助事業）

地域の課題に応じた重点活動目標や事業計画を決定するとともに、地域における健康づくりの普及･実践を促進するため、各地域で健康ひょうご21県民運動地域会議総会及び講演会等を開催した。

地　域	開催日・場所	講演会等の内容	参加人数
阪神南	7月9日（木） 尼崎商工会議所	「サルコペニア予防で健康寿命を延ばしたい」	146人
阪神北	6月18日（木） 宝塚市立西公民館	「健康な食事」	121人
東播磨	7月16日（木） 明石市生涯学習ｾﾝﾀｰ	「身体が心が嬉しくなるウェルネス ～100歳になっても歩くことのできる自分を目指して～」	168人
北播磨	6月25日（木） 加東市滝野文化会館	「災害時の食と健康 ～今、私たちにできること～」	214人

地　域	開催日・場所	講演会等の内容	参加人数
中播磨	7月3日（金） 姫路市医師会館	「学んで備えて上手に逃げましょう」	164人
西播磨	6月30日（火） たつの市青少年館	「笑う顔には福が来る」	182人
但　馬	6月24日（水） 県立但馬長寿の郷	「笑う顔には福が来る」	126人
丹　波	7月2日（木） 丹波の森公苑	「健康長寿の秘訣を探る ～但馬の百寿者から見えてきたもの～」	80人
淡　路	—	（台風のため中止）	—
計			1,201人

④　健康づくり推進員の設置・養成（県補助事業）

ア　健康づくり推進員の設置等

健康づくりの担い手を養成するため、県民運動参画団体から推薦を受けた人を対象に各地域で研修会を10回実施し、その修了者に健康づくり推進員（健康ひょうご21県民運動推進員・8020運動推進員、食の健康運動リーダー）を委嘱した。

区　分	人数(H28.4.1現在)	うち新任者数
県民運動推進員・8020運動推進員	2,033人	293人
食の健康運動リーダー	1,029人	78人

イ　健康づくり推進員フォローアップ研修会等の開催

健康づくり推進員の資質向上を図るとともに、活動に関する意見交換や推進員相互の交流を促進するため、フォローアップ研修会等を各地域で開催した。

開催回数	参加人数
16回	1,284人

ウ　健康づくり推進員による実践活動

健康づくり推進員を中心として地域における健康づくりの普及や実践活動を展開したほか、幼児の保護者等に対する調理実習、“食の健康”運動キャンペーンへの協力その他の食の健康運動の推進活動を行った。

区　分	取組件数	延参加人数
県民運動推進員・8020運動推進員	35,866件	1,155,407人
食の健康運動リーダー	3,155件	136,926人

⑤　健康づくり情報の発信

参画団体や県民運動推進員の実践活動、健康づくりに関する情報等を財団広報誌「プレベ」に掲載し、参画団体等の活動を支援したほか、支部の活動等の情報を支部だより（9支部）で発信した。

平成27年1月にリニューアルした健康ひょうご21県民運動のポータルサイトで、健康づくりに関する実践方法やスマートフォン等で利用できる健康チェックツールの活用等の情報提供を行った。

(2) 食の健康運動の推進

① 食の健康運動リーダーの設置

推進員の中から「食の健康運動リーダー」を委嘱し、食の健康運動を推進した。

② 食生活改善事業の実施

県内の健康づくりチャレンジ企業登録企業の従業員を対象に、健康診断、24時間採尿検査及び食生活アンケート調査の実施により食生活と健康との関係について実態を把握し、その結果に基づいた指導を行うことにより、働き盛り層の健全な食生活の実践支援を行った。

対　象	実施時期	参加人数
事業所従業員	4～3月	32人（男26人、女6人）

③ 巡回食育コンサートの開催

県内各地域で幼稚園・保育所等の子どもや保護者等を対象に、「大豆のうた」や踊り、クイズ等を通じて、早寝早起き、朝食の摂取による規則正しい食生活やバランスのとれた食事の大切さ、栄養源の豊富な野菜、大豆の摂取などを啓発した。

地域	開　催　日	実　施　団　体	参加（人）		
			園児等	保護者等	合　計
神　戸	11月6日（金）	神戸市立神戸幼稚園	93	33	126
阪神南	10月23日（金）	芦屋市立小槌幼稚園	117	76	193
阪神北	10月13日（火）	三田市立三田保育所	181	32	213
中播磨	10月1日（木）	生活協同組合コープこうべ 第6地区活動本部	50	80	130
	1月26日（火）	姫路市立白浜幼稚園	135	40	175
西播磨	11月25日（水）	赤穂市立赤穂幼稚園	112	126	238
但　馬	9月29日（火）	日光認定こども園	111	40	151
丹　波	9月8日（火）	篠山市（丹南児童館）	81	26	107
淡　路	9月16日（水）	淡路市子育て学習センター	77	76	153
計	9回		957	529	1,486

(3) からだの健康づくりの推進（県補助事業）

メタボリックシンドロームとロコモティブシンドロームの予防を目指し、運動

習慣の定着を促進するため学習会を開催し、「健康体操」の普及、促進を図るとともに、今より10分多く毎日からだを動かす＋１０分（プラス・テン）の普及等を図り、からだの健康づくりを推進した。

開催回数	参加人数
28回	3,438人

(4)　歯・口腔の健康づくりの推進（県委託事業）

8020運動推進員による啓発活動をはじめ、各種講演会や啓発資材の配布等を通じて、乳幼児期・学齢期のう蝕予防、成人期の歯周病予防、高齢者の歯の喪失防止に向けた8020運動を推進した。

また、8020運動推進員の資質向上を図るため、研修会を開催した。

開催回数	参加人数
9回	515人

(5)　こころの健康づくりの推進

こころの健康づくりをテーマとした健康フォーラムの開催や健康マイプラン実践講座の実施等により、社会からの孤立防止や生きがいづくりの促進などのこころの健康づくりを推進した。

実施回数	参加人数
24回	3,008人

（健康マイプラン実践講座実施分のみを計上）

(6)　たばこ対策の推進

「受動喫煙の防止等に関する条例」の趣旨を踏まえ、広報資材の配布、研修会等を通じて、たばこの健康への悪影響についての普及・啓発をはじめ、妊産婦や未成年の禁煙等のたばこ対策を推進した。また、ＣＯＰＤについての研修会を開催し、たばこの害について普及啓発をした。

開催回数	参加人数
4回	237人

(7)　講師派遣による実践支援

①　健康マイプラン実践講座（県補助事業）

県民運動参画団体等が実施する健康づくりの講演会や研修会等に講師として専門人材を派遣し、参画団体等における健康づくりの実践を支援した。

区　分	実施回数	参加人数
本　部	45回	6,236人
支　部	40回	2,738人

② 講師派遣事業

市町、地域団体、事業所等が実施する健康づくり教室、イベント等に、専門スタッフ(保健師、健康運動指導士、管理栄養士等)を講師として派遣し、講演や実技指導を実施した。

派遣回数	指導延人数
102 回	5,398 人

(8) 実践活動等への助成

県民運動参画団体等が行う有意義な健康づくり実践活動に助成し、地域における実践活動を支援した。

地　域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
件　数	5	8	8	8	1	3	2	1	5	1	42
助成額(千円)	238	290	380	268	29	135	95	35	206	33	1,709

2 企業との協働による健康づくりの推進

(1) 健康づくりチャレンジ企業への情報発信等(県委託事業)

積極的に従業員や家族の健康づくりに取り組もうとする「健康づくりチャレンジ企業」に対し、メールマガジンの定期発行や財団ホームページでの情報提供を行うとともに、従業員の心身両面の健康づくりをサポートするため、メンタルヘルスチェック及び健康増進プログラムを実施した。

・メールマガジンの発行　　15 回（定例 12 回、号外 3 回）

・メンタルヘルスチェック等事業の実施　　4 団体　249 名

(2) 健康チェックツールの活用推進

スマートフォン等で利用可能な健康増進プログラムを土台とした健康チェックツールを活用し、働き盛り世代等の日頃の健康チェックの促進を支援した。

(3) 健康マイプランの推進（県補助事業）

中小企業や健康保険組合等に対し、健康増進プログラムの活用による一人ひとりに応じた健康マイプランの実践を推進し、企業の健康づくりを支援した。

実施回数	実施人数
37 回	1,385 人

Ⅱ　疾病予防等の普及啓発

1　普及啓発活動の推進

(1)　広報の実施

①　広報誌「プレベ」の発行

健康づくりに関する情報等の発信や財団事業を効果的に広報するため、広報誌「プレベ」を作成し、行政、関係機関、財団近隣の鉄道の駅などを通じて県民に広く配布した。

・発行時期　　9月・3月（計2回）
・発行部数　　22,000部
・配 布 先　　行政機関、健診顧客、健康ひょうご21県民運動参画団体及び県民運動推進員、関連イベント参加者、神戸市営地下鉄各駅等

②　健康づくり関連イベント等への参画

県等が実施するイベントに参画し、健康づくりの普及啓発に取り組んだ。

実施日	イベント名	主催	会　場	内　容
10月4日（日）	こうべ福祉・健康フェア	神戸市	しあわせの村	結核予防の普及啓発 がん予防の普及啓発
10月8日（木）	兵庫県生協大会	兵庫県生活協同組合連合会	県民会館	結核予防の普及啓発 がん検診の受診勧奨
10月15日（木）	阪神ｼﾆｱｶﾚｯｼﾞ祭	阪神ｼﾆｱｶﾚｯｼﾞ	宝塚ソリオホール	結核予防の普及啓発 がん予防の普及啓発 募金活動
11月8日（日）	但馬まるごと感動市	兵庫県	但馬ドーム	健康増進プログラムの普及啓発
11月14日（土）	いなみ野祭	兵庫県いなみ野学園	兵庫県いなみ野学園	結核予防の普及啓発 がん予防の普及啓発
11月15日（日）	はりちゅうの日	播磨中央公園協会	播磨中央公園	健康増進プログラムの普及啓発

③　ホームページによる情報発信

人間ドックメニューの紹介や講演会等のイベント開催、健康コラムの掲載等、財団の事業内容や健康づくりに役立つ情報を発信した。

④　団体の会報、広報紙等への情報提供

医療保険者等が発行する会報や広報誌に健康に関する情報を定期的に掲載することにより、県民の健康づくりを支援した。

・団体数　　2　団体
・掲載回数　　延べ　8回

(2) 結核予防の啓発

① 結核予防週間行事の実施

結核予防週間(9月24日～30日)の期間中、結核予防について広く県民に意識啓発を行った。

ア ポスター等による普及啓発

結核予防会が作成したポスターやパンフレット等を婦人会、医療機関、地方公共団体等に配布するとともに、「結核予防週間ポスター」を神戸市営地下鉄全26駅構内に掲示した。

媒 体	内 容	配布部数
ポスター	結核予防週間	6,000部
パンフレット	結核の常識2015	14,000部
結核予防会機関誌「複十字」(年6回)		1,860部

イ 横断幕・懸垂幕等の掲示

兵庫県庁・ＪＲ三宮駅及び財団荒田事務所において、横断幕・デジタルサイネージ・懸垂幕を掲示し、予防週間の周知を図った。

ウ 街頭活動

兵庫県連合婦人会等と協力して街頭活動を行い、複十字シールなどの啓発資材を配布した。

実施日	場 所
9月25日(金)	JR姫路駅周辺
9月29日(火)	三宮マルイ前

② 複十字シール運動募金活動等による普及啓発の実施

兵庫県連合婦人会等関係団体の支援を得て、結核の制圧及びその他胸部疾患の予防に向けて、その活動に必要な資金を確保するための募金活動及び公益財団法人結核予防会が実施する複十字シール運動募金活動を通じて結核等に対する理解を深める啓発活動を展開した。

件 数	募金額
756件	2,530,992円

(参考：上記以外の(公財)結核予防会への複十字シール運動募金　200件　1,740,191円)

③ 結核予防功労者の表彰

多年にわたり、結核予防の推進に貢献し、その功績が特に顕著な個人を表彰した。

氏　名	職　種	所　属
宇野　千里	医師	宇野内科（姫路市）
蒲　　学	医師	かば内科クリニック（宝塚市）
中川　　勝	医師	刀根山病院（尼崎市）
齋藤　雅文	医師	斉藤内科クリニック（南あわじ市）
小河　幹治	医師	明海病院（神戸市）

④　出版物の斡旋

結核に関する正しい知識を普及するため、結核予防会発行の各種専門図書を保健所、病院、個人等に広く斡旋した。

・斡旋数　　28 種類　　631 冊

⑤　結核・ＣＯＰＤ予防の普及

地域で健康づくりや結核予防に取り組む個人・団体に対し、研修会の開催や啓発資材の配布等を通じて、結核検診受診の重要性や生活習慣の見直しなど、結核・ＣＯＰＤ予防について普及啓発した。

(3)　がん予防の啓発

①　がん征圧月間行事の実施

がん征圧月間（９月）の期間中、がん予防について広く県民に意識啓発を行った。

ア　ポスターによる普及啓発

日本対がん協会が作成した「がん征圧月間ポスター」を行政機関、医療関係団体、婦人会等に配布した。（配布部数　90 部）

イ　横断幕・懸垂幕等の掲示

兵庫県庁・ＪＲ三宮駅及び財団荒田事務所において横断幕・デジタルサイネージ・懸垂幕を掲示し、征圧月間の周知を図った。

②　がん・生活習慣病予防講演会の開催

生活習慣病予防に関する理解を深めるとともに、健康づくりの意識を高めるため、講演会を開催した。

開催日・場所	内　　容	参加人数
1月 28 日(木) 兵庫県医師会館	・講演「科学的根拠に基づくがん予防法 ～予防のための正しい知識とは～」 講師：岩崎　基　氏（国立がん研究センター社会と健康研究センター疫学研究部長） ・講演「生活習慣病と認知症の不思議な関係 ～認知症の予防とは～」 講師：寺島　明　氏（兵庫県立姫路循環器病センター高齢者脳機能治療室長、中播磨認知症疾患医療センター長）	434 人

③　がん征圧寄附金募金活動等による普及啓発

がん予防のための普及啓発活動や、若手研究者へのがん研究助成の原資とするための寄附金を募るとともに、同活動を通じてがん検診の受診勧奨などの啓発活動を展開した。

件　数	寄附金額
166 件	16,263,072 円

④　がん予防功労者の表彰

多年にわたり、がん予防事業の推進に貢献し、その功績が特に顕著な個人を表彰した。

氏　名	職　種	所　属
上岡　英樹	臨床検査技師	JCHO 神戸中央病院（中央区）
栗田　義弘	医師	栗田クリニック（宝塚市）
白壁　昌弥	医師	白壁診療所（尼崎市）
曽我　忠司	医師	そが内科クリニック（明石市）
野田　進一	医師	北摂中央病院内科（西宮市）

⑤　がん検診啓発及びがん患者支援の実施

乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝える「ピンクリボンフェスティバル」やがん患者支援・がん検診啓発チャリティーイベント「リレー・フォー・ライフ」に参画し、その活動を支援した。

実施日	イベント名	主催	会　場	内　容
5 月 17 日 (日)	ピンクリボン 「母の日ｷｬﾝﾍﾟｰﾝ」	ﾋﾟﾝｸﾘﾎﾞﾝひめじ	ｲｵﾝﾓｰﾙ姫路 ﾘﾊﾞｰｼﾃｨ	乳がん検診の啓発
6 月 13 日(土) ～14 日(日)	ﾘﾚｰ･ﾌｫｰ･ﾗｲﾌ・ｼﾞｬﾊﾟﾝ 神戸 2015	ﾘﾚｰ･ﾌｫｰ･ﾗｲﾌ神戸 実行委員会、 日本対がん協会	神戸市みなとの もり公園	がん啓発講演会 サバイバーウォーク がん予防普及啓発
9 月 5 日(土) ～6 日(日)	ﾘﾚｰ･ﾌｫｰ･ﾗｲﾌ・ｼﾞｬﾊﾟﾝ 芦屋 2015	ﾘﾚｰ･ﾌｫｰ･ﾗｲﾌ芦屋 実行委員会、 日本対がん協会	芦屋市 川西運動場	がん啓発講演会 サバイバーウォーク がん予防普及啓発
10 月 1 日 (木)	ﾋﾟﾝｸﾘﾎﾞﾝ 街頭ｷｬﾝﾍﾟｰﾝ	ﾋﾟﾝｸﾘﾎﾞﾝﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ運営委員会	三宮～元町	乳がん検診の啓発
10 月 3 日 (土)	ﾋﾟﾝｸﾘﾎﾞﾝ 街頭ｲﾍﾞﾝﾄ	姫路市 ﾋﾟﾝｸﾘﾎﾞﾝひめじ	姫路駅	乳がん検診の啓発
10 月 25 日 (日)	ﾋﾟﾝｸﾘﾎﾞﾝｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ 2015 神戸	日本対がん協会	松方ホール	乳がん検診の啓発
10 月 31 日 (土)	ﾋﾟﾝｸﾘﾎﾞﾝｷｬｯｽﾙｳｫｰｸ	姫路市 ﾋﾟﾝｸﾘﾎﾞﾝひめじ	姫路城周辺	乳がん検診の啓発
11 月 7 日（土）	ﾋﾟﾝｸﾘﾎﾞﾝｽﾏｲﾙｳｫｰｸ 2015 神戸	日本対がん協会	東遊園地	乳がん自己検診法の啓発 募金活動

⑥　2015年度全国巡回がんセミナーの開催

がん検診による早期発見・早期治療を啓発する「全国巡回がんセミナー」を日本対がん協会と共催で開催した。

開催日・場所	内　　容	参加人数
11月11日(水) 兵庫県看護協会 ハーモニーホール	テーマ「健康が自慢のあなたもがん検診！」 ・基調講演「我が国のがん対策に占める検診の重要性」 講師：垣添　忠生　氏（日本対がん協会会長） ・講演「大切にしたい自分の体 ～2度の子宮がんを体験して～」 講師：原　千晶　氏（タレント・よつばの会代表）	310人

(4)　健康づくりの啓発

①　講演会への講師派遣(再掲)

事業所等が開催する生活習慣病等の講演会に講師を派遣し、健康づくりの啓発とともに実践活動を支援した。

②　健康づくり功労者の表彰

多年にわたり、健康づくり事業の推進に貢献し、その功績が特に顕著な個人・団体を表彰した。

〔個人〕

氏　名	職　種	所　　属
梅村　　智	歯科医師	梅村歯科医院（神戸市）
太田　美代子	一　　般	無職（朝来市）
小林　八重子	一　　般	無職（三田市）
田中　譲治	一　　般	無職（播磨町）
三木　和茂	医　　師	三木メンタルクリニック（西宮市）
光川　雅彦	歯科医師	光川歯科医院（姫路市）
村上　洋代美	歯科衛生士	南あわじ市東洋歯科医院（南あわじ市）

〔団体〕

団　　体　　名
兵庫大学実践食育研究センター公衆栄養ボランティアチーム（加古川市）

(5)　親と子の健康づくりの啓発

①　育児セミナーの開催(母子衛生研究会委託事業)

妊娠、出産、育児等に関する知識を普及するため、主に初産の夫婦を対象に、西宮市との共催により育児セミナーを開催した。

開催日	場　所	参加人数
6月13日(土)	なるお文化ホール	183組
9月26日(土)		201組
12月13日(日)		178組
3月19日(土)		184組
合　計　　4回		746組

② 母子保健功労者の表彰

多年にわたり、母子保健事業の推進に貢献し、その功績が特に顕著な個人を表彰した。

〔個人〕

氏　名	職　種	所　　属
清水　映二	医　師	清水内科医院（たつの市）
住友　真由美	保育士	なし（明石市）
森　　裕司	医　師	森耳鼻咽喉科医院（西宮市）

〔団体〕

団　　体　　名
神戸市助産師会（神戸市）

(6) 臓器移植の推進

① 臓器提供意思表示の普及(県補助事業)

臓器移植の普及を促すため、啓発資材（蛍光ペン・バックハンガー・けんぞうくんボールペン）を作成した。

② いのちの勉強会の開催(県補助事業)

臓器移植医療に関する正しい知識の普及啓発を行い、臓器移植の一層の定着・推進を図るため、臓器移植普及推進月間（10月）に兵庫県、(一社)兵庫県医師会、(公社)兵庫県看護協会及び兵庫医科大学病院との共催により「いのちの勉強会」を開催した。

開催日・場所	内　　容	参加人数
10月27日(火) 兵庫県医師会館	テーマ「ＬＩＶＩＮＧ　ＷＩＬＬ」～臓器提供を考える～ ・臓器移植ミニ講座 兵庫県臓器移植コーディネーター　今村　友紀　氏 ・講演「提供者家族とのかかわり」 公益社団法人日本臓器移植ネットワーク チーフコーディネーター　大宮かおり　氏 ・講演「肺移植を受けて」 肺移植を受けられた患者様 ・総合討論「臓器移植を考える」	266人

③　臓器移植希望者への支援(県補助事業)

臓器移植希望者の経済的負担を軽減するため、希望者の組織適合検査に要した経費の一部を助成した。

・臓器移植希望者組織適合検査助成　　42 件　420,000 円

④　骨髄移植促進事業の実施

骨髄移植を推進するため骨髄ドナー登録啓発用ブック型ふせんメモを作成し、ドナー登録会や各種イベント等で活用した。

・作成数　　850 冊

(7)　献血の促進

①　新聞媒体による広報の実施

神戸新聞紙面(朝刊)を活用し、県民に献血を呼びかけた。

・掲載日　　4 月 30 日(木)、10 月 31 日(土)

②　献血功労感謝のつどいの開催

兵庫県、兵庫県献血推進協議会、日本赤十字社兵庫県支部、兵庫県赤十字血液センターとの共催により、献血功労感謝のつどいを開催した。

開催日	場所	内　容	参加人数
8 月 31 日(月)	兵庫県公館	・献血功労者の表彰等 ・活動内容発表 ・誓いのことば	200 人

(8)　マスコットキャラクターを活用した普及啓発の推進

県民の健康増進を応援するマスコットキャラクターとして、平成 27 年 10 月 1 日、ゾウの「けんぞうくん」を商標登録し、普及啓発グッズを作成するなど、健康増進、疾病予防、健診を中心とした健康財団事業の普及啓発を推進した。

2　専門技術者の育成

(1)　健康づくり指導者の育成

①　健康づくり指導者スキルアップ研修会

特定保健指導をはじめ、メタボリックシンドローム対策に係る運動指導に携わる健康づくり指導者を対象に資質向上を目的とした講習会を開催した。

開催日・場所	テーマ・内容	参加人数
2月 14 日(日) 健康財団	メインテーマ「認知症、サルコペニア、介護予防」 講義「運動による認知症予防とサルコペニア予防の最前線」 実技実習「介護予防トレーニングの基本と実践」	34 人

3　専門的研究の奨励

(1)　がん・腎疾患の専門的研究の奨励

がん及び腎・尿路疾患の予防と診断・治療に役立つ専門的研究を奨励するため、研究助成奨励金を贈呈した。

①　がん研究助成奨励金

氏　名	所　　属	金　額
高村　慶旭	大西脳神経外科病院	50 万円
奥田　千幸	先端医療センター病院	50 万円
茶屋原菜穂子	神戸大学医学部附属病院	35 万円
錦織　英知	神鋼記念病院	35 万円
小菊　　愛	兵庫県立がんセンター	30 万円
北島　一宏	兵庫医科大学病院	30 万円
角木　美加	兵庫県立がんセンター	20 万円
合　　計		250 万円

②　腎疾患研究助成奨励金

氏　名	所　属	金　額
河野　圭志	神戸大学大学院	30 万円
水崎　浩輔	兵庫医科大学	20 万円
合　　計		50 万円

Ⅲ　健診・生活習慣等改善指導の実施及び調査研究の推進

1　健診・検査の実施

(1)　施設健診

特定健康診査やがん検診をはじめ、学校保健安全法、労働安全衛生法等に基づく健康診断等のほか、胃内視鏡受診希望者の増加に対応するため、午後の胃内視鏡の実施枠数を増枠するなど、多様化する受診者ニーズに応じたオプション検査を用意した人間ドックを実施し、県民の生活習慣病の予防及び早期発見を支援した。

健診種別			平成27年度(件)	平成26年度(件)	対前年度比(%)
集団検診	学校健診		706	669	105.5
	住民健診		947	921	102.8
	事業所健診	一般健康診断(就学・就職)	1,143	1,045	109.4
		定期健康診断等	15,599	15,609	99.9
	小計		18,395	18,244	100.8
人間ドック	1泊2日人間ドック		123	150	82.0
	半日人間ドック		5,819	6,020	96.7
	兵庫県2時間人間ドック		344	305	112.8
	脳ドック [再掲]		(257)	(256)	100.4
	PET検診 [再掲]		(27)	(23)	117.4
	胃内視鏡検査 [再掲]		(2,723)	(2,409)	113.0
	乳腺超音波検査 [再掲]		(1,718)	(1,644)	104.5
	レディースドック [再掲]		(525)	(570)	92.1
全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診			7,689	7,579	101.5
	一般健診		(7,353)	(7,214)	101.9
	一般健診＋付加健診		(336)	(365)	92.1
小計			13,975	14,054	99.4
合計			32,370	32,298	100.2

注1)脳ドック、PET検診、胃内視鏡検査、乳腺超音波検査は、人間ドックの各コースの付加につき再掲

注2)レディースドックは、女性専用日を利用した受診者で再掲

(2) 出張健診

市町や地元商工会との連携等により、事業所従業員や被扶養者をはじめ幅広い層を対象とした健診受診機会を提供するとともに、検査項目の追加などにより、質の高い健診実施を積極的に推進した。

また、健診日程の圧縮や検診車の効率的配車など、医療資源の効率的な活用を図り、運営改善に努めた。

① 学校健診

健診種別	平成27年度(件)	平成26年度(件)	対前年度比(%)
結核検診	28,622	27,468	104.2
心臓検診	7,305	6,235	117.2
腎臓検診	23,336	18,605	125.4
蟯虫検査	988	928	106.5
診察・身体計測等	13,088	13,156	99.5
合計	73,339	66,392	110.5

② 住民健診

健診種別		平成27年度(件)	平成26年度(件)	対前年度比(%)
結核検診		78,524	79,209	99.1
特定健康診査(生活習慣病健診等を含む)		21,531	20,791	103.6
	心電図検査	(8,798)	(8,276)	106.3
	眼底検査	(7,136)	(6,621)	107.8
	貧血検査	(11,263)	(10,865)	103.7
胃がん検診		34,305	33,990	100.9
肺がん検診		73,732	74,749	98.6
大腸がん検診		22,504	21,277	105.8
子宮頸がん検診		16,905	16,852	100.3
乳がん検診	視触診	3,528	3,559	99.1
	ﾏﾝﾓｸﾞﾗﾌｨ	12,117	12,586	96.3
前立腺がん検診		7,542	7,129	105.8
骨粗鬆症検診		2,858	2,900	98.6
肝炎検査		4,272	3,676	116.2
腹部超音波検査		13,475	12,508	107.7
合計		291,293	289,226	100.7

③　事業所健診

健診種別		平成27年度(件)	平成26年度(件)	対前年度比(%)
定期健康診断		108,190	107,674	100.5
特定健康診査		1,717	1,645	104.4
全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診		25,751	24,463	105.3
ストレスチェック		1,331	—	—
特殊健康診断		19,051	17,811	107.0
がん・追加検診等	胃がん検診	39,707	40,624	97.7
	肺がん検診	29,863	29,405	101.6
	大腸がん検診	56,262	53,970	104.2
	子宮頸がん検診	1,401	1,305	107.4
	乳がん検診(ﾏﾝﾓｸﾞﾗﾌｨ)	1,553	1,519	102.2
	腹部超音波検査	13,099	12,391	105.7
合計		297,925	290,807	102.4

(3)　一般診療

診療科目	平成27年度(件)	平成26年度(件)	対前年度比(%)
内科・外科・放射線科	779	901	86.5

(4)　先天性代謝異常検査（県委託事業）

検査種別	平成27年度(件)	平成26年度(件)	対前年度比(%)
代謝異常検査	31,812	32,360	98.3
ＴＳＨ(クレチン症)検査	31,150	31,636	98.5

(5)　精度向上・危機管理への取り組み

①　健診精度の向上

ア　人材の育成・職員研修の実施

財団職員の資質の向上並びに正確な検査の実施能力の維持・向上を図るため、職員に対する研修会を実施した。

研修会名	回数	延参加人数
職員（全体）研修会・職種別分科会	2回	571人
健診事業研修会	1回	36人
但馬地区健診従事者研修会	1回	45人
医師研修会	1回	38人
日本消化器がん検診学会地方会（胃Ｘ線撮影技術研修）	10回	118人

イ　精度管理委員会の開催

胸部、胃部、マンモグラフィ検診の読影精度の向上及び心電図の記録・判定技術の研究を図るため、財団で読影・判定業務に従事する医師を対象に検診実施状況報告及び画像症例検討等による専門委員会を開催した。

開催日	内　　容	参加人数
12月17日(木)	マンモグラフィ専門委員会	14人
2月　3日(水)	生理機能検査（心電図）専門委員会	6人
2月18日(木)	胃部エックス線画像専門委員会	20人
3月10日(木)	胸部エックス線画像専門委員会	23人
合　　計　　4回		63人

ウ　外部精度管理評価の維持

県民に信頼される健診機関であるために、全国労働衛生団体連合会、日本医師会、結核予防会等による外部精度管理調査を定期的に受審し、精度の維持・向上を図るとともに、第三者機関による認定の維持に努めた。

【第三者機関による認定】

・人間ドック健診施設機能評価認定
・労働衛生サービス機能評価機構認定
・日本消化器がん検診学会指導施設認定
・マンモグラフィ検診施設画像認定
・日本臨床細胞学会施設認定
・日本人間ドック学会健診研修施設認定

②　危機管理体制の運用

受診者が安心して安全で良質な医療を受けられる環境を整えるため、健診等に関する事故やヒヤリ・ハット事例を分析し、事故の未然防止・再発防止策を検討する推進会議等を開催した。

名　称	構成員	内　　容	開催回数
リスクマネジメント推進会議	課長等	・事故内容の分析 ・事故防止対策の検討・提案等	13回
リスクマネジメント実践担当者会議	担当職員	・事故防止対策の実行、教育の実施	12回

③　情報処理体制の強化

健診結果等情報処理システムの適正な管理を行うことにより、効率的な事務処理に努めるとともに、迅速・正確かつ品質の高いサービスの提供に努めた。

また、情報セキュリティを一層強化するため、ICカード認証システムの導入や内外システム環境の物理的系統分離を行った。

④　プライバシーマークの運用・維持

個人情報保護に係る認定制度「プライバシーマーク」について、セキュリティレベルの向上を図りつつ、個人情報の漏洩防止に組織的に取り組むことにより認定の継続を図った。（平成28年3月に6度目の更新認定）

(6)　計画的な車両・設備の整備

健診精度の維持・向上を図るため、耐用年数等を考慮し策定した更新計画に基づき、医療機器等の更新整備を行った。

〔主な整備内容〕

- 胸部デジタルX線検診車・・・・・　1台
- 胃部デジタルX線撮影装置・・・・　1台
- 超音波診断装置・・・・・・・・・　1台
- 細胞診自動染色装置・・・・・・・　1台
- 健診補助車両・・・・・・・・・・　1台
- ストレスチェックプログラム・・・　1式

2　保健指導の実施

(1)　特定保健指導

特定健診の結果に基づき、生活習慣を改善し健康の保持に努める必要があるとされた者に対し、生活習慣の行動目標、行動計画の設定及び健康づくり実践を支援する特定保健指導を実施した。

・支援別実施実人数

	平成27年度	平成26年度	対前年度比
動機付け支援	369人	855人	43.2%
積極的支援	279人	1,026人	27.2%
合　計	648人	1,881人	34.4%

※当該年度中に指導を開始した実人数を記載

(2)　一般保健指導

人間ドックの受診者等のうち事後指導を希望する者に対して、財団施設内または事業所に出向き、生活習慣の改善について指導した。また、健診結果に基づき、運動や食生活指導を希望する者に対して、より具体的な実践方法を指導した。

	平成27年度	平成26年度	対前年度比
施設内事後指導	796人	796人	100.0%
出張型事後指導	2団体/74人	5団体／176人	42.0%

3　健康増進施設の運営

(1)　五色県民健康村健康道場の運営

①　絶食・低カロリー食療法コース（入所）

3泊4日以上滞在する入所者について、7日間、11日間、16日間、20日間のほか、入所者の希望に応じた日数設定を行い、個々のニーズや体調に合わせたサービスを提供した。

	平成27年度	平成26年度	対前年度比
利用者数	1,050人	1,039人	101.1%
延宿泊者数	6,522人	6,645人	98.1%
平均宿泊日数	6.2日	6.4日	96.9%

②　生活習慣改善体験コース（日帰り）

県民が五色県民健康村健康道場を気軽に日帰りで利用できる機会を提供するための日帰りコースを実施した。

・内容　　心身医学の講義、性格分析、丹田呼吸法

③　カウンセリング外来

退所者及びその家族にカウンセリングを行い、ストレスの解決やリバウンド防止を支援した。

・利用者数　　58人（平成26年度　18人）

④　利用促進施策の実施

開設30周年記念事業の継続実施をはじめ、ホームページの活用やメール、はがきによる「道場だより」等の発行等により積極的な広報を行ったほか、年末・年始営業や期間割引料金の実施により、利用者の確保に努めた。

ア　30周年記念事業の継続実施

(ｱ)　インターネット健康大学

インターネットを活用した講義を開講し、「心身医学」を学ぶ機会を提供した。

(ｲ)　リピーター割引クーポン券の発行

次回利用時に30%割引となるクーポン券を1人につき2枚発行した。

・発行枚数　　2,116枚（平成26年度　2,060枚）

・利用枚数　　387枚（平成26年度　289枚）

(ｳ)　学生割引の実施

学生を対象に利用料金の50%割引を実施した。

・割引期間　　4月、7月～9月、3月

・利用者数　　17人（平成26年度　28人）

イ　年末・年始営業

・営業日　　12月29日～翌年1月3日

・期間中の利用者数

区　　分	平成27年度	平成26年度	前年度比
入所者数	41人	35人	117.1%
延宿泊者数	186人	164人	113.4%

ウ　期間割引料金

・対象期間　　11月1日～翌年1月31日（12月21日～翌年1月9日を除く）

・対象者　　5人部屋の利用者

・割引額

区　　分	通常料金	割引後料金	割引率
県内利用者	10,000円	7,000円	30.0%
県外利用者	10,300円		32.0%

・期間中の利用者数

区　　分	平成27年度	平成26年度	前年度比
入所者数	68人	69人	98.6%
延宿泊者数	524人	449人	116.7%

※12月21日～1月9日の通常料金期間の入所者含む

4　調査研究事業の推進

(1)　疾病罹患状況等の分析

健診事業及び精密検査実施状況の追跡調査により得られたデータを集計し、がん検診等の実施状況、発見がんの状況等を事業年報により発信した。

・発行部数　　500部

・配布先　　行政機関、医療関係団体他

(2)　がん登録事業（県委託事業）

①　がん罹患情報の収集・登録

兵庫県のがん予防対策の基礎資料として活用を図るため、医療機関等の協力を得て、県内のがん罹患情報を収集・登録した。

また、登録データをまとめ、平成24年のがん罹患状況を集計した。

・届出件数　　58,916件

・届出医療機関数　　84機関

・死亡小票登録件数　　52,510件

② 地域がん登録実務者研修会の開催

届出業務に従事する病院の実務者及び県・市町担当者を対象に、がん登録業務の精度向上、がん登録関係機関相互の連携と情報提供を目的に「地域がん登録実務者研修会」を開催した。

実施日・場所	内　　容	参加人数
9月11日(金) 神戸大学医学部会館 シスメックスホール	講演「がんの病理」 ～肉腫とは：５大がんとの対比から～ 神戸大学大学院医学研究科・医学部地域連携病理学分野特命教授 兵庫県立がんセンター病理診断科部長　廣瀬　隆則　氏 講演「地域がん登録の集計結果」 兵庫県健康福祉部参事兼疾病対策課長　味木　和喜子　氏	127人